メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務

受付日	質疑番号	配布資料名	ページNo	質疑内容	回答
R8.11.12	01	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務に関する公募プロポーザル募集要領	6	提案書（正本）に押印するのは、代表者印でしょうか。	「様式第9号　仕様印鑑届」にて届け出た使用印を押印してください。
R8.11.12	02	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務に関する公募型プロポーザル募集要領	7	見積書への押印について、委任状を提出している場合は、代表者印の押印は不要とし、委任を受けた代理人の印のみを押印する取扱いで差し支えないでしょうか。	見積書の代表者氏名の横には、「様式第9号　仕様印鑑届」にて届け出た使用印を押印してください。委任状を提出した場合も、代理人の印に加え、使用印の押印が必要です。
R8.11.12	03	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務に関する公募型プロポーザル募集要領	9, 10	プレゼンテーション、デモンストレーションについて、参加者3名のうち、一部の者がオンラインで参加することは可能でしょうか。例えば、現地参加2名、オンライン参加1名とすることは可能でしょうか。	各審査において、オンラインでの参加も認めますが、オンラインでの参加に必要な機材の準備や調整については、提案事業者の責任で行ってください。準備・調整の時間は入室後約3分程度です。
R8.11.12	04	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	3	(3)運営について①ID・パスワードの発行 「ID・パスワードの発行」とありますが、利用者の識別・管理について、 個別のIDを発行する方式ではなく、メールアドレスをIDとして管理する方式でも差し支えないでしょうか。	仕様に示す要件・意図を充足し、かつ、セキュリティ上の担保が保証されるものであれば問題ありません。
R8.11.12	05	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	8, 9	2(1)④ 心身状態把握、2(3)⑤ 学習記録・目標設定 心身状態の把握・記録、および学習記録・目標設定について、メタバース空間の標準機能ではなく、受託者が別途提供する学習支援システム（Webアンケート形式等）と連携し、空間内のリンクから入力・記録する方式でも要件を満たすと考えてよろしいでしょうか。	仕様に示す要件・意図を充足し、かつ、セキュリティ上の担保が保証されるものであれば問題ありません。

R8.11.12	06	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	9	2(5)学習継続支援 ポイントやバッジ等の仕組みについて、システムの標準機能に限らず、運用上の工夫(掲示板での称賛・表彰、学習支援システム上での付与等)による実現も可と考えてよろしいでしょうか。	仕様に示す要件・意図を充足し、かつ、セキュリティ上の担保が保証されるものであれば問題ありません。
R8.11.12	07	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	9	「(6)管理者機能①利用者管理」に記載のある、「パスワードの発行」についても管理者権限で行うことが必須でしょうか。よりセキュリティ性を高めた代替提案は可能でしょうか。	利用希望者が申請した際に、早急(1～2営業日以内)に対応することが可能であれば代替方法の提案でも構いません。
R8.11.12	08	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	3	本件における、児童生徒の上限ID数、管理者権限の上限ID数をご教示ください。(150IDの内訳)	児童生徒は130ID、管理者権限は教育委員会関係者・学校担当者の20IDを想定しています。
R8.11.12	09	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	2	「令和9年3月～仮導入・試用」と記載がありますが、仮導入期間と本導入期間の運用面・機能面・実施内容等での違いについて想定がありましたら、ご教示ください。	仮導入期間と本導入期間で実施内容等に差異は想定しておりません。 仮導入期間で出た課題等について、本導入期間において調整等を行っていただく予定です。
R8.11.12	10	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	3	「①ID・パスワードの発行」の「利用者」につきまして、対象学年は小学校1年生～中学校3年生という想定で認識齟齬はないでしょうか。	児童生徒の対象学年は小学1年生から中学3年生を想定しています。
R8.11.12	11	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	2,4,5	既存のオンラインCOMPASSと本事業について、今後の継続・併合・統合・移行等の予定及び役割分担をご教示ください。 本事業では学習支援を新たに企画・実施する想定でしょうか。それとも、既存の配信・教材等を活用しながら、交流・相談等の支援を充実させる提案も可能でしょうか。 また、既存利用者の引継ぎ・利用手続及び指導員との連携を想定されている場合は、その内容をご教示ください。	既存のオンライン学習支援事業(オンラインCOMPASS)は本業務の開始に伴い、終了する予定です。既存事業の配信・教材等をメタバース空間内で活用する可能性はございますが、今回の提案においては、既存事業の教材等の活用を加味せず、提案してください。 既存利用者については、改めて利用の登録申請をしていただきますので、受託者に引継ぎの手続きをしていただくことは想定しておりません。 既存事業の指導員は、本事業においても指導員をする予定となっておりますので、メタバース空間内において、情報共有等の連携をしていただく可能性がございます。

R8.11.12	12	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	2,3	本事業の対象者は、大野城市立小中学校に在籍する小学1年生から中学3年生までの不登校児童生徒という理解でよろしいでしょうか。中学性のみ、小学4年生以上など、対象学年等に制限がある場合は、ご教示ください。 また、計150IDには教職員及び発注者も含まれるため、想定する利用児童生徒数、学年別又は小学生・中学生別の人数及び1日当たりの利用見込み数があればご教示ください。	対象児童生徒は、市内の小中学校に在籍する小学1年生から中学3年生を想定しています。 150IDのうち、小中学生は130ID、教育委員会関係者・学校担当者の20IDを想定しています。1日当たりの利用見込み数については、現時点では回答できかねます。
R8.11.12	13	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	3,4	メタバース空間の開放及び学習支援・交流イベント等は、原則としてサポートスタッフの配置時間である平日午後1時から午後3時までの間に実施する提案でよろしいでしょうか。別途必要となる開放時間又はスタッフによる対応時間がある場合はご教示ください。 また、同時間帯を確保した上で、提案見積額の範囲内で開放時間及びスタッフの配置時間を延長することは可能でしょうか。	メタバース空間の開放時間は平日午前9時から午後4時までを想定しています。そのうち、受託者に配置いただくサポートスタッフに平日午後1時から午後3時までの間、業務に従事いただき、仕様書2(4)サポートスタッフについてに示す業務を行っていただく想定です。 また、学習支援・交流イベント等は平日午後1時から午後3時の間に実施していただくことを想定しています。 なお、提案上限額の範囲内であれば、仕様以上の提案をしていただくことも可能です。
R8.11.12	14	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	4,5	サポートスタッフが、講義形式の学習支援等の講師を兼務することは可能でしょうか。例えば、サポートスタッフを2名配置し、1名が講師を担当する間、もう1名が空間全体の巡回・相談対応等を継続する体制を想定しています。 このように、サポート業務を継続できる場合も、講師を別途追加配置する必要があるかご教示ください。 また、仕様書2(4)②に定める経験要件を満たす場合、大学生アルバイト等、正社員以外の者をサポートスタッフとして配置することは可能でしょうか。雇用形態等に関する条件がある場合は、併せてご教示ください。	仕様に示す要件・意図を充足するものであれば、問題ありません。 また、雇用形態についての条件はありません。
R8.11.12	15	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	2,5	学習支援等の実施について、「原則45分×週3コマ(計218コマ)」について、次の点をお教えください。 ①合計218コマの算定に用いた実施期間及び実施週数 ②令和9年3月の仮導入・試用期間及び学校の長期休業期間における実施の要否並びに祝日等により週3コマを実施できない場合の振替の要否 ③学年別の実施が必要か、学習到達度別又は異学年合同での実施も可能か ④季節の交流イベント等を218コマの中に含めることは可能か。	①合計218コマは令和9年3月から令和11年3月までの期間で実施することを想定しています。 ②合計218回の算定時に、学校の長期休業期間及び祝日等は除いて算出しておりますので、原則、振替での実施は想定しておりません。 ③基本的には小学生・中学生別での実施を想定しています。 ④仕様に示す要件・意図を充足する内容であれば、最低実施水準の回数に含めることも可能です。

R8.11.12	16	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	5	「教科・プログラミング・相談等」は内容例とされていますが、実施が必須となる教科や教科別の実施頻度に必須の指定はなく、利用者の興味・関心や学習状況に応じ、教科横断型・体験型の内容を含めて提案することが可能という理解でよろしいでしょうか。	基本的には、主要5教科の学習支援を想定していますが、教科横断型や体験型の内容を含めて提案いただくことは可能です。
R8.11.12	17	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	5,9	利用者の理解度に応じた学び直しや自主学習を支援するため、外部の個別学習教材を本事業の費用内で提供する提案は可能でしょうか。可能な場合、利用端末、外部アカウント、学習履歴の取扱い等の条件をご教示ください。 また、当該教材を用いた学習を最低実施水準の「45分×週3コマ」に含めることが認められるか、講師による支援等の必要条件と併せてご教示ください。	外部の学習教材を活用する提案も可能です。ただし、児童生徒が利用する一人一台端末で利用することができ、学習履歴が確認できるものに限ります。 仕様に定める要件・意図を充足するものであれば、最低実施水準の回数に含めることも可能です。
R8.11.12	18	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	3～5	本事業の周知、授業予定・イベント案内、参加予定の確認、欠席連絡、活動状況の共有及び緊急連絡などの連絡体制について、発注者・在籍校・受託者の役割分担と想定する連絡手段をご教示ください。 また、これらの連絡に現在導入されている保護者連絡サービス「tetoru」を活用することは可能でしょうか。 活用可能な場合、参加者の保護者のみを対象とする配信について、①在籍校ごとの配信、②教育委員会からの一括配信、③受託者による直接配信のうち、可能な運用及び必要な権限・条件等をご教示ください。併せて、受託者が配信内容や参加・欠席情報等を共有する方法をご教示ください。	本事業の周知、授業予定・イベント案内等については、発注者を通じて行うものとします。連絡手段は、現時点では、市のホームページを想定しています。参加予定の確認や欠席連絡等は都度行うことを想定しておりません。 また、活動状況の共有については、市の指定する方法で受託者から発注者に行っていただく予定です。在籍校への連絡は、発注者が行います。緊急の連絡については、発注者と受託者で協議し、手段等について決定するものとします。 なお、保護者への連絡にtetoruを活用する可能性はありますが、受託者から直接配信することは想定しておりません。
R8.11.12	19	メタバース空間を活用した不登校児童生徒への学習等支援業務仕様書	4,5	学習支援や交流イベント等はオンライン会議を活用して実施するものとされていますが、仕様書に定めるオンラインでの実施水準を満たした上で、提案見積額の範囲内で大野城市内において年1回以上の対面による交流イベントを追加実施する提案は可能でしょうか。 他自治体での実践を踏まえ、日常のオンライン活動で築いた関係を対面での交流につなげることで、コミュニケーション能力の向上や登校再開の向けたきっかけづくりを図ることを想定しています。	仕様書に定める要件を満たした上で、追加の提案をしていただくことは可能です。